

BIGDr.Worker データ移行の作業手順

BIGDr.Worker ツールで古いツールから新しいツールへデータを移行する手順を説明します。なお、ここで示す作業手順は、2019/5/14 現在の方法であり、ツールのアップデートに伴い変更となる可能性があります。ご了承ください。

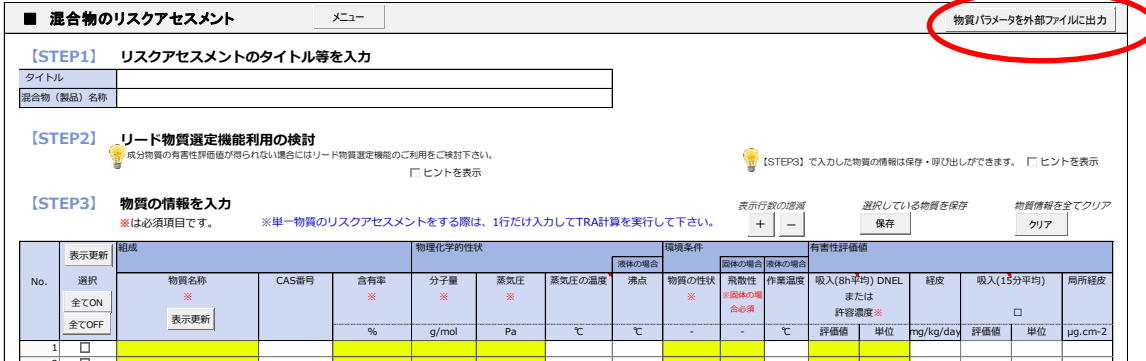
【作業手順の概要】

- ・物質パラメータを移行するには、「物質パラメータ DB」シートに保存されたデータをコピー&値貼り付けします。
- ・実施したリスクアセスメントの情報も移行したい場合には、「混合物リスクアセスメントの結果一覧」シートおよび「出力_成分物質」シートのデータをコピー&値貼り付けします。
- ・通常のコピー&貼り付けでなく、「値の貼り付け」を選択して頂くのが安全です。

詳細な作業手順は以下となります。

【作業手順】

- ①「物質パラメータを外部ファイルに出力」ボタンを押下すると、BIGDr.Worker が置かれているのと同じフォルダに BIGDrWorker_tra3.1_v1.x_2016xxxx_data.xlsx というファイル（以降、「バックアップファイル」）に移行データが出力される。



The screenshot shows the '混合物のリスクアセスメント' (Mixture Risk Assessment) interface. A red circle highlights the button '物質パラメータを外部ファイルに出力' (Export material parameters to external file) in the top right corner. The interface includes several steps: [STEP1] Risk assessment title input, [STEP2] Lead substance selection function check, and [STEP3] Substance information input. Below these steps is a table for entering substance data.

No.	表示更新 選択 全てON 全てOFF	組成 物質名称 ※ 表示更新	CAS番号	含有率 ※ %	物理化学的性状				環境条件			有害性評価値					
					分子量 ※ g/mol	蒸気圧 ※ Pa	蒸気圧の温度 ℃	沸点 ℃	液体の場合 物質の性状 ※	固体の場合 気散性 ※ ※固体の場合 ※固体の場合 ※必須	液体の場合 作業温度 ℃	吸入(8h平均) DNEL または 許容濃度※ 評価値	経皮 mg/kg/day	吸入(15分平均) 評価値	局所経皮 単位 μg.cm-2		
1	<input type="checkbox"/>																
2	<input type="checkbox"/>																

- ②バックアップファイルを開き、「物質パラメータ DB」シートを表示し、データ範囲（物質名称～局所経皮の有害性評価値）までを選択し、コピーする。

物質パラメータDB

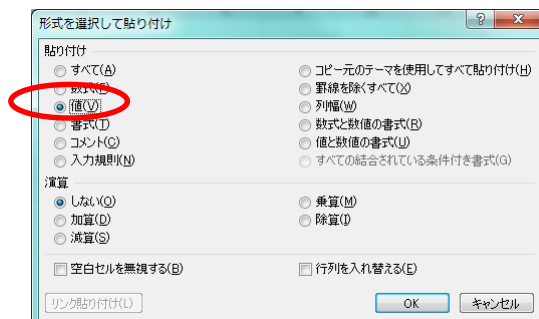
リスクアセスメントシートにセットするパラメータのNoを入力後、「混合物RAシートにセット」ボタンをクリックして下さい。

No. 混合物RAシートにセット ※最大10,000パラメータまで保持できます。

No.	組成			物理化学的性状				環境条件			有害性評価値				
	物質名称 ※	CAS番号	含有率 ※	分子量 ※	蒸気圧 ※	蒸気圧の温 度	沸点	物質の性状 ※	揮散性 ※ ※固体の場 合※※	作業温度	吸入(8h平均) または 皮膚経皮	経皮	吸入(15分平均)	局所経皮	
			%	g/mol	Pa	°C	°C		°C	評価値	単位	mg/kg/day	評価値	単位	μg/cm ²
1	トルエン	8-88-3	5~25%	92.1	3800		110.6	固体でない	-	20	192	mg/m ³	6.25	384	mg/m ³
2	酢酸ブチル	123-86-4	5~25%	116.2	1200		126	固体でない		20	480	mg/m ³		960	mg/m ³
3	酢酸エチル	141-78-6	5~25%	88.1	9999.2		77	固体でない		20	734	mg/m ³	63	1468	mg/m ³
4	メチルイソブチルケトン	108-10-1	5~25%	100.2	2100		117	固体でない		20	83	mg/m ³	11.8	208	mg/m ³
5	エチレンジクロールモノエチ	111-15-9	1~5%	132.2	270		156	固体でない		20	27	mg/m ³	0.44	27	mg/m ³

この範囲を選択してコピー

③BIGDr.Worker ツールで「物質パラメータ DB」シートを表示し上記の②と同じ範囲に「形式を選択して貼り付け」 - 「値の貼り付け」をする。



以上で物質パラメータの移行は終了です。

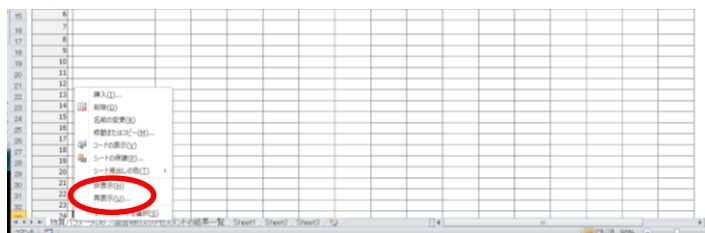
ツールで実行したリスクアセスメントの結果も新しいツールへ移行したい場合は、④以降の手順を行ってください。

④バックアップファイルの「混合物リスクアセスメントの結果一覧」シートを表示し、データ範囲 (RA No.~局所経皮の評価結果 (RCR)) までを選択し、コピーする。

RA No.	タイトル	実施日時	混合物の名称	ばく露シナリオ										評価結果(RCR)				
				作業内容 カテゴリ (PROC)	作業形態	作業期間 [時間/日]	換気状態	呼吸保護 員の有無と 効率	保護手段 の有無と 効率	経皮ばく 露を考慮 したLEV (局所排)	吸入(8時間 平均)	経皮	合計(吸入 +経皮)	吸入+短期 (15分平 均)	局所経皮			
1	2液性反応型アクリ	2016/04/27 21:30:12	2液性反応型アクリル	PROC5 調プロフェシ		15分未満	屋外	あり(集塵)	グローブ	APF10(5)	0.00420	0.01817	0.01736	0.08895	-			
2	aaaa	2016/04/27 22:22:27		PROC5 調プロフェシ		15分未満	屋外	あり(集塵)	グローブ	APF10(5)	0.00632	-	-	0.12681	-			
3	bbbb	2016/05/30 16:32:24		PROC5 調工業		15分未満	屋外	あり(集塵)	グローブ	APF20(5)	0.01428	0.06234	0.07662	0.57123	-			
4	cccc	2016/06/06 15:08:04		PROC5 調工業		15分未満	屋外	あり(集塵)	グローブ	APF20(5)	0.01428	0.06234	0.07662	0.57123	-			

⑤BIGDr.Worker ツールで「混合物リスクアセスメントの結果一覧」シートを表示し上記④で選択したのと同じ範囲に「形式を選択して貼り付け」－「値の貼り付け」をする。

⑥バックアップファイルのシート名タブを右クリックして表示されるメニューで「再表示...」を選択し、「出力_成分物質」シートを再表示する。(最初は非表示となっている)



⑦バックアップファイルの「出力_成分物質」シートを表示し、データ範囲（物質 No.～局所経皮の評価結果）までを選択し、コピーする。

⑧BIGDr.Worker ツールで「出力_成分物質」シートを再表示する（再表示の方法は上記⑥を参照）。

⑨BIGDr.Worker ツールで「出力_成分物質」シートで上記の⑦で選択したのと同じ範囲に「形式を選択して貼り付け」－「値の貼り付け」をする。

⑩BIGDr.Worker ツールの「出力_成分物質」シートは編集を防ぐために、データ移行後はシート名タブを右クリックして表示されるメニューで「非表示」に戻す。